

基本的な考え方

人権尊重は、企業活動における根幹的な社会的責任と認識し、社員一人ひとりが働きやすい職場環境づくりと当社の発展につなげていくため、行動規準「オリコード」に人権の尊重と差別やハラスメントの排除を定め、会社と社員の取り組み姿勢について周知徹底を図っています。

2015年度の  
総括と主な成果

- トップ層に対して同和問題をテーマとする人権啓発研修の実施
- 人権啓発DVD「なぜ企業に人権啓発が必要なのか」をオリコおよびオリコグループ全社員が視聴

## 人権啓発活動の推進

### ● 人権啓発研修

差別やハラスメントのない人権尊重に根ざした職場環境の実現に向け、さまざまな人権に関する実践的な研修や啓発活動を継続的に実施しています。特に2015年は、部落地名総鑑事件発覚から40年、同和对策審議会答申から50年を迎える年にあたることから、人権啓発活動の原点である同和問題を、トップ層人権啓発研修テーマとしました。

- ・入社時研修、階層別研修(集合型研修)
- ・職場内研修(DVD教材による集合型研修とeラーニングによる個人学習)



集合研修の様子

### ● 人権啓発標語の募集

社員一人ひとりが職場・家庭・地域社会等において、人権尊重の心を育み合えるよう、12月の人権週間に、オリコグループ全社員および家族から人権啓発標語を募集しています。人権啓発委員会にて社内表彰作品を選考のうえ、社内イントラネットと各拠点に掲示して人権尊重意識の浸透を図っています。2015年度は、3,320作品の応募があり、39作品を社内表彰作品として選出しました。

2015年度オリコ優秀賞受賞作品

社員の部

「優しい気遣い あなたの笑顔

みんなで“かなえる”明るい職場」

家族の部

「ありがとう 思うだけより 伝えよう」

社内表彰作品のなかでも特に優秀だった6作品を東京人権啓発企業連絡会の2015年度人権啓発標語へ出品したところ、家族の部において優秀賞を受賞しました。

2015年度 東京人権啓発企業連絡会

家族の部 優秀賞受賞作品

「違いがあるからステキな社会

違いがないのはやさしい心」